

私たちは日本スポーツ振興センターの競技力向上事業助成とスポーツ振興くじ助成を得て事業を行っています

作成日: 2021年7月20日

2020年度 事業報告書

(自 2020年6月1日 ~ 至 2021年5月31日)

公益社団法人
日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟

公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟は、日本国内のボブスレー・リュージュ・スケルトンの各競技を統括し、代表する団体として、定款に掲げる目的を達成するため、「2020年度 事業計画書」に掲げた以下の事業を実施した。

1. 競技普及振興活動

(1) そり競技体験会事業

傘下の道府県連盟が開催するそり競技体験会は、新型コロナウイルスの国内感染状況悪化に伴い、計画した7事業中5事業を中止。1事業は内容と開催地を変更し、北海道と滋賀で2事業を実施した。

行事名称	開催地	会場	開催日	参加者(人)
プラスチックそり大会(芝生)	宮城	太陽の村	中止	—
大阪リレーマラソンそり競技体験会	大阪	大阪市内	※に行事変更	—
※西日本プッシュスケルトン大会	滋賀	県立国際情報高校	2020/12/29	3
リュージュ体験教室	北海道	藤野競技場	2021/1/29	22
FU'S スケルトン体験教室	北海道	札幌市内	中止	—
FU'S 札幌市民スケルトン大会	北海道	札幌市内	中止	—
スケルトン全道大会	北海道	大通公園	中止	—
ボブスレー体験教室	北海道	温根湯温泉	中止	—

(2) 選手発掘事業

オリンピックでメダリストになり得る選手を発掘することを最重要課題とし、各競技別の選手発掘育成計画書を策定した。昨年度は3回実施した選手発掘測定会を、本年度は計10回に増やし、育成選手の獲得を目指した。

行事名称	開催地	会場	開催時期	人数(人)
第1回 選手発掘測定会(ボブ・スケ)	東京	代々木公園	2020/8/22	13
第2回 選手発掘測定会(ボブ・スケ)	宮城	岩沼陸上競技場	2020/8/23	7
第3回 選手発掘測定会(ボブ・スケ)	大阪	万博記念公園	2020/8/29	7
第4回 選手発掘測定会(ボブ・スケ)	北海道	野幌総合公園	2020/8/30	6
第5回 選手発掘測定会(リュージュ)	長野	長野スパイラル	2020/9/5	4
第6回 選手発掘測定会(リュージュ)	北海道	円山公園	2020/9/6	7
第1回 育成合宿(ボブ)	長野	長野スパイラル	2020/9/18-20	2
第7回 選手発掘測定会(ボブ・スケ)	東京	上柚木陸上競技場	2020/9/22	8
第2回 育成合宿(ボブ)	長野	長野スパイラル	2020/9/25-27	3
第8回 選手発掘測定会(ボブ・スケ)	埼玉	鴻巣陸上競技場	2020/9/27	7
第3回 育成合宿(ボブ)	長野	長野スパイラル	2020/10/2-4	4
第4回 育成合宿(ボブ)	長野	長野スパイラル	2020/10/22-25	5
第9回 選手発掘測定会(スケルトン)	宮城	岩沼陸上競技場	2020/11/1	3
第5回 育成合宿(ボブ)	千葉	リソルの森 他	2020/11/9-12	5
第6回 育成合宿(ボブ)	長野	長野スパイラル	2020/11/21-26	6
第7回 育成合宿(ボブ)	千葉	リソルの森 他	2020/12/2-5	5
第8回 育成合宿(ボブ)	長野	長野スパイラル	2020/12/15-20	6
第10回 選手発掘測定会(リュージュ)	長野	北部勤労センター	2021/1/17	1

(3) 国際大会・全国大会事業

ボブスレー及びスケルトンの全日本プッシュ選手権大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、「感染症対策を踏まえた大会実施ガイドライン」を作成・実践したうえで、下記のとおり開催した。

台風が接近し、午前中は荒天となったため、スケルトン、ボブスレーとも、当初日程を変更し、1本滑走による大会とした。この両大会は、実践の場を通じた各選手の競技力強化を事業目的の一つとしており、大会結果がその後の選手選抜に反映されている。また、大会参加に起因する感染者が出なかったため、上記ガイドラインの有効性の実証ともなった。

なお、冬季全日本選手権大会は、スパイラルが冬季製氷休止中のため、2020年度も休止とした。

行事名称	開催地	会場	開催時期	参加(人)
2020 全日本プッシュスケルトン選手権大会	長野	スパイラル	2020/10/10	31
2020 全日本プッシュボブスレー選手権大会				20

(4) 審判資格者育成事業

当事業の根幹活動である競技規則講習として、以下の講習会等を実施した。国内大会の開催が限定的であるため、新たな審判資格者の育成の需要は少ないが、選手やコーチ等が基礎知識を取得することを目的とした講習会開催となっている。参加者からは、改めて競技規則の習得の必要性を実感した意見が集まった。

行事名称	開催地	会場	開催時期	(人)
JSP0 公認コーチ3養成講習会 「そり競技におけるルールと審判法」	オンライン	Zoom	2020/8/23	1
大阪連盟ボブスレー・スケルトン競技規則講習会	大阪	サンライフ明石	中止	
スケルトン次世代合宿ルール講習会	長野	スパイラル	2020/11/28	5

(5) 長野スパイラル利用拡大推進事業

長野スパイラルの冬季製氷休止に伴い、2020 年度も活動を休止した。

(6) 広報・ファンドレイジング活動事業

昨年度に改修した JBLSF ホームページを、閲覧者が見やすいメニュー配置に改良し、強化部の事業活動を画像付で定期的に掲載する事で、ホームページへの集客数増加と JBLSF の認知度拡大に努めた。



NEWS お知らせ

2021.1.22 - お知らせ - 【重要】事業活動再開ガイドラインの改訂に関するお知らせ

2021.6.10 - 選手発掘 - 【7/11代替開催】選手発掘テスト（岡山地区）開催のお知らせ

—— もっと見る

2021.5.28 - お知らせ - 6月6日開催 選手発掘テスト（岡山）中止連絡

EVENT 競技日程・結果

2020.10.20 - リュージュ - 2020-21シーズン（リュージュ）

2020.10.20 - スケルトン - 2020-21シーズン（スケルトン）

—— もっと見る

2020.10.20 - ボブスレー - 2020-21シーズン（ボブスレー）

ACTIVITY 活動報告

2021.6.23 - JSCスポーツくじ事業 - 国内育成合宿2（ボブスレー）実施報告

JBLSF を支える新規スポンサーの発掘活動を推進した結果、スーツケースメーカーの(株)シフレとスポンサー契約を締結し、主に海外事業で使用する旅行用スーツケースが2021 年度から JBLSF 指定選手とコーチに対して供与支援されることになった。

2. 競技者強化と指導者養成活動

(1) 強化事業

全世界での新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、3 競技共に、2020 年度で予定していた海外事業は全て中止し、国内事業に切り替えた。

-1. ボブスレー

世界と戦える選手を強化していくという基本方針の元、選手選考基準を引き上げたが、4 名が基準を突破した。

【強化報告】

① パイロット強化

海外滑走トレーニングの代替として、環境は全く異なるが、その操縦力を高める目的で、国内でレーシングカートを用いたトレーニングを実施し、パイロットスキルの向上を目指した。

選手は数多くのコース周回をこなすにつれて、車体からの挙動情報を身体で感じ取れるようになり、コースのライン取りや、コーナーでの最適なハンドル舵角操作を習得する事が出来た。パイロット能力の向上度合いを海外氷上コースで確認した上で、今後もカート練習を積極的に取り入れていく。

② フィジカル強化

海外氷上コースで滑走練習ができないハンディキャップを克服する為、気候が温暖な沖縄を合宿地に組み入れ、質と量を高めてスプリントトレーニングやウェイトトレーニングを実施した結果、対象 6 選手のコンバインテスト結果は、昨年比で 6.8% 向上した。

行事名称	開催地	会場	開催時期	選手(人)
国内合宿 1	長野	長野スパイラル	2020/9/2-6	6
国内合宿 2	長野	長野スパイラル	2020/10/10-13	6
国内合宿 3	千葉	リソルの森	2021/1/12-15	中止
国内合宿 4	沖縄	浦添運動公園	2021/1/25-30	6
国内合宿 5	静岡	オートパラダイス御殿場	2021/2/8-10	5
国内合宿 6	沖縄	黄金森公園	2021/2/20-27	6
国内合宿 7	静岡	オートパラダイス御殿場	2021/3/1-4	5
国内合宿 8	沖縄	黄金森公園	2021/3/13-19	6

-2. リュージュ

15 か年計画を基に、発掘育成の仕組み作りと JOC 強化指定選手の強化を進めた。また、国際リュージュ連盟(FIL)の支援で米国リュージュ連盟(USLA)とパートナーシップ契約を締結し、オンライン会議を定期的で開催して発掘育成の手法を学んだ。

【強化報告】

海外コース氷上滑走トレーニングの代替として、ローラーリュージュでの陸上滑走トレーニングを中心に選手の強化を行った。

今年度はアイススケートリンクを活用した練習を新たに取り入れ、固定レール器具を使った従来のスタート練習とは違い、左右のバランス取りや力の伝え方など、氷上ならではの動きを伴うスタート練習を行った。

また、スケルトングループとの合同合宿を複数回実施したことで、1名しかいないJOC強化指定選手にとっては、同年代の若手選手同士と互いに刺激しあえる機会になった。

課題の体重増量については、昨年度終了時点から7kgの増量となり目標を達成した。今後もトレーニングと並行して栄養管理指導を継続する。

行事名称	開催地	会場	開催時期	選手(人)
国内合宿1	長野	長野市スパイラル	2020/9/18~20	2
国内合宿2		岡谷スケートの森	2020/11/3~7	1
国内合宿3			2020/12/19~23	2
国内合宿4		オンライン形式	2021/1/9~11	2
国内合宿5		岡谷スケートの森	2021/2/12~17	2
国内合宿6		長野市スパイラル	2021/3/20~21	2

-3. スケルトン

JSC 次世代ターゲットスポーツの支援委託事業で選定したジュニア選手を対象に、世界トップ水準の身体能力や技術の獲得を目標に掲げ、スタートタイム向上に特化した強化事業を実施した。

今年度の新たな取り組みとして、スケートリンクを活用し、課題であった氷上走法の習得トレーニングを重点的に行った結果、スタート局面のタイムは平均で2.38%向上した。

また、医・科学部と連携して、トレーナーや栄養士による日常的なサポート体制を整え、体組成の改善指導や、プッシュ動作を解析する3次元分析動画撮影を行い、競技力向上環境の整備に努めた。

行事名称	開催地	会場	開催時期	選手(人)
国内合宿1	長野	長野スパイラル	2020/9/4-6	4
国内合宿2	長野	長野スパイラル	2020/10/7-12	4
国内合宿3	長野	やまびこスケートリンク	2020/11/3-8	4
国内合宿4	長野	やまびこスケートリンク 長野スパイラル	2020/11/21-12/2	3
国内合宿5	長野	やまびこスケートリンク	2020/12/16-27	4
国内合宿6	北海道 愛媛	とまりリンク イヨテツスケートリンク	2021/1/8-24	3
国内合宿7	愛媛 長野	イヨテツスケートリンク やまびこスケートリンク	2021/1/29-2/27	3
国内合宿8	愛媛 長野 宮城	イヨテツスケートリンク 長野スパイラル 仙台大学	2021/3/4-27	3

(2) 海外遠征・国際レース参戦事業

2020 年度は発掘育成事業を主軸にし、3 競技別の発掘育成計画書を新たに策定して、将来のオリンピックメダリスト候補選手の育成に特化するため、また、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大状況も踏まえ、国際レース参戦事業は休止した。

(3) 指導者養成事業

資格を有した指導者の育成と継続的なコーチング技術の研鑽が、ソリ競技の発展の源となると考え、以下の事業を実施した。

- ・専門科目講習会(事前準備・事後報告(日本スポーツ協会並びに日本連盟)を含む)
- ・公認コーチ 3 講習会

本年度は下記表の通り、新型コロナウイルス感染対策・対応として日本スポーツ協会と実施方法を確認・承認後に実施、継続受講者 1 名が完了した。

行事名称	開催日	受講者(人)
JSPO 公認コーチ 3 資格取得講習会(オンライン形式)	8 月 22・23 日	4

公認コーチ 4 カリキュラム改定を委員会内で協議し、2021 年度中に改定可否に関して結論を出す予定である。

(4) 長野スパイラルそり競技調査研究事業

長野スパイラルの冬季製氷休止に伴い、スパイラル機材を活用した同事業は、2020 年度も休止した。

(5) 医科学サポート推進事業

本年度は強化指定選手/コーチを対象に、WEB 形式による 3 競技全体会議と、合同合宿の場で、インテグリティ教育プログラムとアンチドーピング教育プログラムを実施した。

3 競技合同会議は、WEB 形式での初開催となったが、柔道リオ五輪メダリストの羽賀龍之介選手からの講話をはじめ、選手たちのプレゼンテーション機会の創出や、新たな医・科学の知見提供など、充実した内容を開催することができた。

また、インテグリティ教育プログラムについては、JOC の研修プログラムを活用し、「アスリートアプリの通期利用」、「ハラスメントに関する認識」、「お酒との付き合い方」、そして「SNS 利用に関する応用講習」を実施した。

さらに、アンチドーピング教育プログラムは、WEB 形式にて、基礎編と応用編を組んで実施した。特に、基礎編においては、JADA が提供する e-ラーニングの案内など、選手の受講を必須と位置づけて、2 回にわたって同様の内容で開催した。

インテグリティ、ならびにアンチドーピング教育プログラムを行うことで、自らの価値を守る知識と手段、正しい倫理観や道徳心を有する人間力高い選手への成長に向けた機会を

提供し、医・科学支援のみならず人間力育成にも寄与する事業を実現できた。

なお、JSC 次世代ターゲットアスリート事業に位置付けられているスケルトン競技においては、プッシュ局面における 3 次元動作解析やコンバインテストスコアの妥当性検証、ならびにそのフィードバック教育など、科学サポートも通期にわたって実施した。

また、合宿期間中にトレーナーと管理栄養士がサポートし、選手が自らコンディショニングを行う力を人間力育成と捉え、自己調整力の向上に寄与する自立支援も通期にわたって行った。

行事名称	開催地	開催日	(人)
アンチドーピング教育プログラム 基礎編 1 回目	WEB	2020/7/4	17
アンチドーピング教育プログラム 基礎編 2 回目	WEB	2020/7/11	5
3 競技合同会議（インテグリティ、ハラスメント、視覚情報、オリンピック講和、スポーツ科学、アンチドーピング応用編、アスリートプレゼンテーション）	WEB	2020/9/12-13	45
インテグリティ講習（お酒との付き合い方、SNS 応用）	長野	2020/12/18	17
インテグリティアスリートアプリ、JADA e-ラーニング		通期	
スケルトン次世代ターゲットアスリート事業 医・科学サポート		通期	

以上